



機械科通信

酒田光陵高校機械科

第25号

平成28年4月28日

◆機械科5期生 40名入学おめでとう！！

4月8日に入学式を終え、男子のみ40名が機械科に新しい仲間として入ってきました。今年度の入学生は高い倍率を突破し栄冠を勝ち取った、非常に期待が高まる生徒達です。旧酒田工業高校開校から、唯一科名がほとんど変わらず存続してきた歴史のある機械科で、社会人として羽ばたくための

基礎を学び、楽しく元気に充実した高校生活を送ってほしいと思います。「頑張った分だけ返ってくる」そんな機械科で学習・部活動・資格取得など幅広い分野でどれだけ頑張るか、それは生徒一人一人にかかっています。地元の期待・先輩の期待・家族の期待、すべてを背負いこの3年間で限界まで成長してください。楽しみにしています。



◆機械科職員紹介、生徒へのメッセージ

◎鎌田 英人・・・ボクシング部、生徒指導部長

「ようこそ酒田光陵高校機械科へ。

自分で考え、見たり聞いたりしながら研究して、ものをつくり出すことは、とても楽しいことです。

部品の表面が光り輝く仕上がりになったとき、自分の思い通りに機械が動いたとき、組み合わせた部品が一寸の隙間もなくピタッと納まったとき、私はとても感動します。あなたはどんな気持ちになりますか？きっと、私

と同じく感動する40人の人達だと思いますが、いかがでしょうか？ただし、自分の知識と技術のレベルがある程度上がらないと、本気で感動できません。そのために、これからの3年間の学びがあると思います。

「ものづくり」を通して「機械科」を大いに楽しみましょう。」

◎五十嵐 航・・・メカニカル技術部、教務部

「新入生諸君、ようこそ機械科へ。これから3年間楽しいことや辛いことたくさん経験するでしょう。その中で社会人として必要な人間性を学んでほしいと思います。さて私は機械科の資格取得を奨励し、ジュニアマイスターの申請も担当しています。今年の3月に卒業した3年生は過去類を見ないほど多数の資格を取得し、多くの生徒がジュニアマイスターにも認定されました。この勢いを鈍らせることなく、在校生含め機械科全員でこの伝統を守って下さい。期待しています。」



◎三浦 孝典・・・山岳部、環境保健部、機械科長

「高校生活の三年間はあっという間に終わります。日頃部活や勉強に追われ、時間がなと思っていませんか？ この三年間でしっかりと目標を定め、日頃から取り組んでいる人は、その目標を達成できているはずですよ。どんな天才でも、一日は24時間しかないので。時間を有効に活用できる事がその後の人生に大きく関わってくるのです。がんばってください。」



◎大瀧 善弘・・・ソフトボール部、総務部

「機械科魂を受け継ぐ115名の皆さん、平成28年度がスタートしました。1年生にとっては「機械科魂とは何ぞや」を知り、2年生にとっては「さらなる機械科魂の見せどころ」を探り、3年生にとっては、「機械科魂ここにあり」をしめす年でもあります。

『君は今なぜここにいるのか それはここが君のためにあるから』ではない。自分の人生を自分で切り開くためにここにいるんだ。『われらあり、使命に燃えて』そんな君たちを私は応援しよう。」

◎小山 大央・・・野球部、進路指導部

「どこに行くかではなく、そこで何をすることが大切です。入学した君たちはそこで終わりではなく、これからの3年間で本気で何をしていくかを考えましょう。がんばった分だけ将来の道は数多く広がっていきます。逆に何もしないと未来の道は限られたものになります。さあ、どうする？」

◎村上 崇・・・サッカー部、生徒指導部

「新1年次生のみなさん、入学おめでとうございます。高校生活の3年間は、中学校の3年間よりも中身の濃い時間になるようにして下さい。在校生のみなさん、昨年1年間はどんな1年でしたか？今年はどうな1年にするか、明確な目標を持ってください。

『成功する秘訣は今より少しだけ上を目指すこと。これを続けることだね。』

これは、ギターに少しでも興味のある人なら必ず知っていると思われる、レス・ポール氏の言葉です。（レスポールギターの産みの親です）

何かを大きく変えるには、小さな変化を積み重ねることです。大きい目標を立て、小さく少しずつ前進する。地味な変化が大きな変化につながることを『意識』して、この1年を充実したものにして下さい。」

◎小山 剛史・・・男子バレーボール部、2年担任

「機械科の諸君には光陵高校の顔になってもらいたい…そんな思いで毎日授業や実習、部活動等で君達に接しています。光陵高校の看板は『機械科』だと言われる日を夢見ています。諸行事や部活動で学校の中心となり盛り上げて下さい。まず他者から認めてもらう、評価してもらえ人間になることです。そのためには資格・検定や部活動など様々なことに挑戦し、ひたむきに努力し続けることが必要です。それから、嫌な仕事をすすんでやる、苦しいことから目を背けない、悩むことから逃げないこと。誰からも応援される人に、あるいは応援される機械科を目指していきましょう！」